SDS 番号: C1444017-M00484-23

製品名: ベンゼン 4L ACS

作成日 2014年 9月22日 改訂日 2022年12月22日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ベンゼン 4L ACS

カタログ No : 1444017 品目コード : HACH2852

供給者の会社名称、住所及び電話番号

東亜ディーケーケー株式会社 東京都新宿区高田馬場 1-29-10

担 当 部 門 : 生産部 HACH 技術課

04-2957-6152

FAX番号: 04-2957-9906

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 区分 2

健康有害性 急性毒性(経口) 区分4

急性毒性(吸入:蒸気) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2A

生殖細胞変異原性 区分 2

発がん性 区分 1A 生殖毒性 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(呼吸器) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(中枢神経系 造血系)

環境有害性 水生環境有害性 短期(急性)区分 2

水生環境有害性 長期(慢性) 区分 2

(上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。)

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 引火性の高い液体及び蒸気

飲み込んだ場合や吸入した場合は有害

皮膚刺激 強い眼刺激

眠気又はめまいのおそれ 遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

様式 QA4121 <2>

東亜ディーケーケー㈱

SDS 番号: C1444017-M00484-23

製品名: ベンゼン 4L ACS

呼吸器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による造血系、中枢神経系の障害

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

使用前に取扱説明書を入手すること。 安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

取扱い後はよく眼を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

環境への放出を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置 飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚又は髪に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又 はシャワーで洗うこと。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用し ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

特別な処置が必要である(詳細は、SDS4項:応急措置を参照のこと)。

口をすすぐこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

火災の場合:消火するために適切な消火剤を使用すること。

漏出物を回収すること。

保管 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

廃棄 地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を

得た廃棄物処理業者に委託処理する。

SDS 番号: C1444017-M00484-23 製品名: ベンゼン 4L ACS

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 化学物質 化学名又は一般名 ベンゼン

含有量 100.0%

化学式又は構造式 C₆H₆

官報公示整理番号

化審法 3-1 安衛法 — CAS No. 71-43-2

4. 応急措置

吸入した場合 : 肺への吸入は重度の肺損傷を起こすことがある。呼吸が停止した場

合は人工呼吸を行い、直ちに医師の診断、手当てを受けること。空気の新鮮な場所に移すこと。皮膚に直接触れないようにすること。 呼吸が困難な場合は、訓練を受けた者が酸素吸入を行い、バリアを 使用し、口対口の心肺蘇生法を行うこと。遅発性肺水腫を発症する

恐れがある。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類や靴はすべて脱ぎ、直ちに多量の水と石鹸で良く洗

うこと。刺激や炎症が続く場合は医師の診断、手当てを受けるこ

ہ ع

眼に入った場合 : 直ちに大量の水で、まぶたの下まで 15 分間以上良く洗うこと。眼

を大きく見開いて洗浄すること。患部をこすらないこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激や炎症が続く場合は医師に連絡するこ

. ع

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。水で口をすすいだ後、大量の水を飲ませる

こと。意識がない場合は口から何も与えないこと。誤えんにより肺 を損傷させることがある。自発嘔吐の際は頭部を腰より低くし誤え

んを防ぐこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状

の最も重要な徴候症状

医師に対する特別な注意

事項

呼吸困難、せき、喘息、めまい、灼熱感

本製品以外の有毒物質を飲み込んでいない場合は、誤えんの危険性

をともなう胃洗浄や催吐はしないこと。

5. 火災時の措置

使ってはならない消火剤 : データなし

火災時の特有の危険有害性 : 発火の危険性あり。本製品や空容器は熱や発火源から遠ざけるこ

と。燃焼残渣や消火廃水は、地方自治体の規制に従って処分する か都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

消火を行う者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 : 安全な場所に退避させること。指定された個人用保護具を使用すること。眼、皮膚、衣類との接触を避けること。適切な換気を行うこと。漏出区域から離れた風上の安全な場所に退避させること。すべての発火源(フレア、火花や炎など)を取り除くこと。禁煙。フラッシュバックに注意すること。静電放電に備え予防措置を講じること。装置はすべて接地し、アースを取って使用すること。漏出物に触れたり、その上を歩いたりしないこと。

SDS 番号: C1444017-M00484-23 製品名: ベンゼン 4L ACS

> 環境に対する注意事項 : 安全に対処できるならば漏えいを止めること。漏出物を排水系に流出さ

> > せないこと。

封じ込め及び浄化の 方法及び機材

: 安全に対処できるならば漏えいを止めること。蒸気抑制泡は蒸発濃度 を低下させるために用いる。防壁を設け、漏出液を集めること。排水 系、下水系、排水溝、水路に流さないこと。不活性剤(土や砂など) で流出物を吸収し、廃棄容器に入れること。静電放電に備え予防措置 を講じること。不活性吸着剤で吸収すること。漏出物を適切なラベル

の貼付された容器に集めること。

二次災害の防止策 :漏出物と漏出場所は環境規制に従い浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 指定された個人用保護具を使用すること。眼、皮膚、衣類との接触を避

> けること。蒸気やミストを吸入しないこと。熱、熱源、火花、裸火及び その他の発火源から遠ざけること。禁煙。静電放電や火災、爆発を防ぐ ため、本製品を移す場合はすべて接地しアースをとること。局所換気装 置を使用すること。火花が発生しない工具及び耐爆型装置を使用するこ と。スプリンクラーのある設備内で取り扱うこと。容器に貼付された取 扱説明書にしたがって使用すること。本製品を使用する際は、一般的な 労働安全衛生上の規則に従うこと。眼、皮膚、衣類との接触を避けるこ

と。この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。

汚染された衣類、靴はすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

: データなし 技術的対策 : データなし 安全取扱注意事項 : データなし 接触回避

保管 : 容器は密栓し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。

> 熱や火花、炎などの発火源(パイロットランプ、電気モーター及び静電 気など)から遠ざけること。適切なラベルの貼付された容器に保管する こと。可燃性物質から隔離して保管すること。スプリンクラーのある設 備内に保管すること。子供の手の届かないところに保管すること。施錠 して保管すること。他の物質から離して保管すること。国及び地方自治

体等の規制に従い保管すること。

安全な保管条件 データなし : データなし 安全な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 OSHA PEL;

ベンゼン: TWA 10ppm, TWA 1ppm, (vacated) TWA 10ppm,

(vacated) STEL 50ppm,

(vacated) Ceiling 25ppm, Ceiling 25ppm, STEL 5ppm

ACGIH TLV:

ベンゼン: STEL 2.5ppm, TWA 0.5ppm 安全シャワー、洗眼設備、換気設備

設備対策 保護具

> 呼吸用保護具 適切な換気

手の保護具 保護手袋、不浸透性手袋 眼、顔面の保護具 ゴーグル型保護眼鏡、保護面

適切な保護衣(長袖)、耐薬品性白衣、静電気帯電防止長靴 皮膚及び身体の保護具

一般的な衛生上の この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。汚染された作業衣は

作業場から出さないこと。装置や作業場、作業服は定期的に清掃するこ 注意事項 と。作業を中断する場合や使用後は直ちに手をよく洗うこと。適切な保護

具を着用すること。眼、皮膚、衣類への接触を避けること。

SDS 番号: C1444017-M00484-23 製品名: ベンゼン 4L ACS

環境ばく露対策 : 下水系、地面、及びあらゆる水域への流出を防ぐこと。大量に漏出した場

合は地方自治体へ通知のこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 無色、透明

臭い : 中程度の炭化水素臭

分子量 : 78.11g/mole 融点/凝固点 : データなし 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 80°C; 176°F 可燃性 : データなし 爆発下限界及び爆発上限界/ : 7.5%(爆発上限)

可燃限界 1.3%(爆発下限) 引火点 : −11°C; 12°F 自然発火温度 : 562°C; 1044°F 分解温度 : データなし p H : データなし 動粘性率 : データなし

溶解度 : 水:溶解しない (<0.1mg/L, 25℃; 77°F)

ほとんどの極性有機溶媒:溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77°F)

n-オクタノール/水分配係数 : 該当せず

(log 値)

蒸気圧 : 13.33kPa/99.985mmHg (26℃; 78.8°F)

密度及び/又は相対密度 : 0.879 (水=1、空気=1) 相対ガス密度 : 蒸気密度:2.77 粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 該当せず

化学的安定性 : 適切な条件下にて安定である。 危険有害反応可能性 : 通常使用下にて特になし。

避けるべき条件 : 熱、火花、裸火

混触危険物質 : 強酸、強塩基、強酸化剤 危険有害な分解生成物 : 二酸化炭素、一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

(経口) : 急性毒性推定値 LD50=1620mg/kg (吸入:蒸気) : 急性毒性推定値 LC50=14000ppm

皮膚腐食性/ 混合物の皮膚腐食性/刺激性成分濃度より区分2とした。

刺激性

眼に対する重篤な : 混合物の眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性成分濃度より区分 2A とし

損傷性/眼刺激性た。

呼吸器感作性 : データなし

又は皮膚感作性

生殖細胞変異原性: 混合物の生殖細胞変異原性成分濃度より区分2とした。

発がん性 : ACGIH A1 (確認されたヒト発がん性因子)、IARC グループ 1(作用因子は

ヒト発がん性がある)、NTP(ヒト発がん性因子であることが知られてい

る)、OSHA リスト記載あり。

生殖毒性 : 混合物の生殖毒性成分濃度より区分2とした。

特定標的臓器毒性 : 混合物の特定標的臓器毒性(単回ばく露)成分濃度より区分1(呼吸

(単回ばく露) 器)、区分3(麻酔作用)とした。

SDS 番号: C1444017-M00484-23

製品名: ベンゼン 4L ACS

特定標的臓器毒性 : 混合物の特定標的臓器毒性(反復ばく露)成分濃度より区分1(中枢神

(反復ばく露) 経系 造血系)とした。

誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 : ベンゼン: 魚類 96 時間 LC50=5.3mg/L

魚類 32 時間 NOEC=0. 8mg/L

藻類 72 時間 EC50=29mg/L

残留性・分解性: データなし生体蓄積性: データなし土壌中の移動性: データなしオゾン層への有害性: データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物 : 地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の

許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器・包装 : 空き容器は火災や爆発の原因になることがあるので、切ったり穴をあけた

りしないこと。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報 : 道路法及び消防法に従う。 海上規制情報 : 船舶安全法及び港則法に従う。

航空規制情報 : 航空法に従う。

国連番号 : 1114 品名(国連輸送名) : ベンゼン

国連分類 : クラス 3 (引火性液体類)

容器等級 : II 緊急時応急措置指針番号 : 130

輸送の特定の安全対策 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、

及び条約 落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に

行なう。

国際規制

運輸規制情報

Proper Shipping Name : Benzene

Hazard Class : 3

Subsidiary Risk : Not Applicable

ID Number : UN1114
Packing Group : II

航空規制情報

Proper Shipping Name : Benzene

Hazard Class : 3

Subsidiary Risk : Not Applicable

ID Number : UN1114
Packing Group : II

海上規制情報

Proper Shipping Name : Benzene Hazard Class : 3

Subsidiary Risk : Not Applicable

ID Number : UN1114
Packing Group : II

SDS 番号: C1444017-M00484-23

製品名: ベンゼン 4L ACS

その他の情報

本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり

分類される。国連分類:クラス9(その他の危険物質)、国連番号:3316

15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 第1種指定化学物質、特定第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行

(PRTR) 令第1条別表第1、施行令第4条) ベンゼン(管理番号:400)

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第1

8条第1号、第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18

条の2第1号、第2号別表第9) ベンゼン(政令番号:531)

作業環境評価基準(法第65条の2第1項)ベンゼン 危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)ベンゼン

特定化学物質第2類物質、特定第2類物質(特定化学物質障害予防規則

第2条第1項第2,3号)ベンゼン

特定化学物質特別管理物質(特定化学物質障害予防規則第38条3)べ

ンゼン

特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者(法第66条第2項、施行令第

22条第1項) ベンゼン

特殊健康診断対象物質・過去取扱労働者(法第66条第2項、施行令第

: 特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4) ベンゼンを

22条第2項)ベンゼン

毒物及び劇物取締法 : 該当せず

化審法 : 優先評価化学物質(法第2条第5項) ベンゼン

水質汚濁防止法 : 有害物質 (法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条) ベ

ンゼン

廃棄物の処理及び清

掃に関する法律

含有する特定有害産業廃棄物

土壌汚染対策法 : 特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条) ベンゼン

下水道法 水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)ベンゼン

海洋汚染防止法 : 有害液体物質 (Y類物質) (施行令別表第1) ベンゼン

危険物(施行令別表第1の4)ベンゼン

道路法 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・

債務返済機構公示第12号·別表第2)第一石油類非水溶性液体【積載

数量】200L

港則法 : その他の危険物・引火性液体類(法第20条第2項、規則第12条、危

険物の種類を定める告示別表)ベンゼン

航空法 : 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)ベンゼン

船舶安全法 : 引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)ベンゼン

消防法 : 第4類引火性液体、第一石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別

表第1·第4類)第一石油類非水溶性液体【指定数量】200L

SDS 番号: C1444017-M00484-23

製品名: ベンゼン 4L ACS

16. その他の情報

引用文献等

- 1 Hach Company SDS No. M00484 (Benzene)
- ② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
- ③ ezCRIC 日本ケミカルデータベース(株)
- ④ JIS Z7252-2019 および Z7253-2019

記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

その他

GHS分類はJIS Z 7252に基づくものであり、HACH社のGHS分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。